NIE実践報告

1．タイトル：☆つながる　ひろがる　NIE活動

2．学校名

愛媛県新居浜市立泉川中学校

3．実践者名（代表者名）

曽我部 真輔

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　91人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞情報活用の基礎を培う

7．目標（狙い）

新聞に親しみをもたせ、活用と発信の意欲化を図る。

8．評価の視点

〇防災や地域の課題や未来に関心をもち、自己のあり方や生き方について考えることができたか。
〇防災・奉仕・未来に関して収集した情報を新聞形式にしてまとめ、わかりやすく発表することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

総合的な学習の時間(NIE活動:20時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞について知る(2時間)・新聞の紙面構成　・新聞の読み比べ　・情報収集の仕方について
(2)スクラップファイルづくり(6時間)
・防災・奉仕・未来に関する新聞記事をスクラップする。(学年全体)
(3)班でテーマを決め、発表新聞を作成する。(8時間)
・新聞記事やインターネットからの資料、さらに講演会等を含めた自分たちの体験をもとに記事を作成する。
(4)発表準備をする(伝えたいことがより伝わるような見出しを考える)。(1時間)
・市内教科外研究大会での研究授業
(5)発表会を行う。(3時間)
・評価カードに自己評価・相互評価を記入し、意見交換を行う。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・これからの将来の生き方を見つめ、自分がどのように社会に貢献し、生きていくかをよく考えることができた。
・テレビやインターネット等でスピーディーに情報が入るが、心に残るものが少ない。「聞く」「読む」ということに時間をかけてこそ人の思いが伝わって感動がある。自分の考えや思いを伝えるために、読み手を意識して書いた記事を発信するというプロセスは強く感じた。

12．成果と課題

・全員で集めた新聞記事を読むことで、新聞に親しむとともに視野が広がった。
・NIE活動で学んだことが、総合的な学習の時間のまとめへとつながっていった。国語科との連携を図った学習指導ができた。
・新聞は発信者の意図が入り、新聞社によっても報道の方法が様々なので、そのことを押さえた上で読み比べをする等の学習も必要だと思われる。